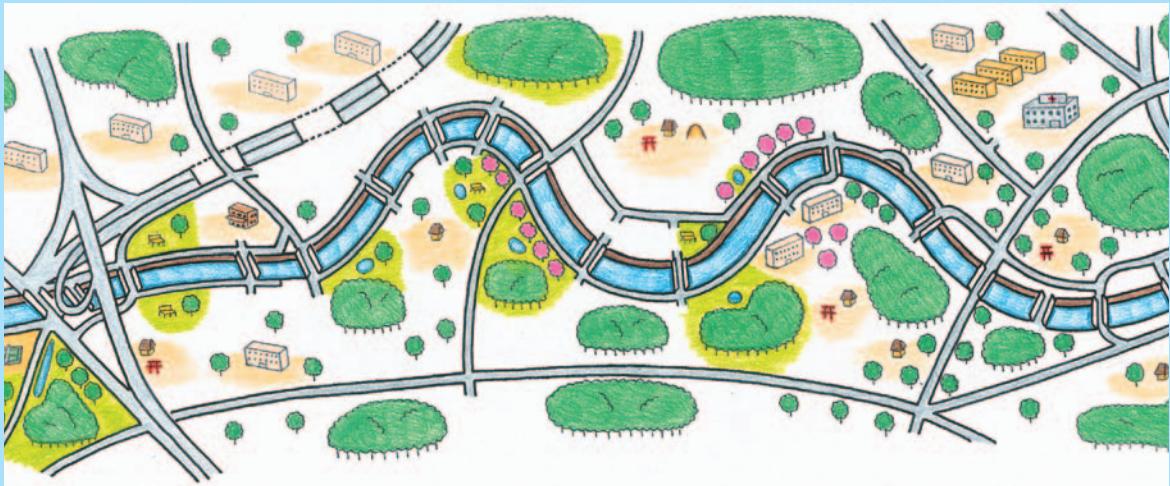


白子川散策マップ



白子川流域環境協議会

はじめに

白子川と聞いてどのような印象をお持ちですか？
きれいな水の流れる川、きたない水の流れる川、
生物が多くすむ豊かな川、湧水の豊富な川など、
人によって印象はさまざまだと思います。

昔の白子川は、その流域に水が多く湧き出し、
清らかで豊かな流れが保たれていましたが、戦後
の流域の都市化とともに汚濁河川になってしまった
時期もありました。現在では、水質が改善され、
生き物がすむ川に戻りつつあります。また、白子
川流域にはまだ水が湧き出しているところが残さ
れています。

このマップでは白子川を大まかに3つの流域に
分け、少しでも白子川のことについて知っていた
だくことを目的に作成しました。白子川を散策す
るための資料として広く活用していただければ幸
いです。

白子川流域環境協議会

もくじ

はじめに・もくじ・参考文献	1
白子川について	2
白子川上流域	3
白子川中流域	7
白子川下流域	11
白子川の水生生物	15

参考文献

- ・ふれあい石神井川散策マップ 石神井川流域環境協議会
- ・白子川を知っていますか ー水辺再生に向けてー 白子川汚濁対策連絡協議会
- ・和光市湧き水と緑地マップ 和光市建設部都市整備課・（財）日本自然保護協会
- ・和光の身近な自然探訪 湧き水のまち白子だより (編集) 緑と湧水と流れの会
(発行) 和光市・緑と湧水と流れの会
- ・練馬区公園ガイド あした天気になーれ 練馬区土木部公園緑地課
- ・かたくり (パンフレット) 練馬区
- ・ねりまのかんきょう ー平成15年度報告ー 練馬区環境清掃部環境保全課
- ・原色日本淡水魚類図鑑 宮地傳三郎・川那部浩哉・水野信彦共著 保育社
- ・山渓カラーネ名鑑 日本の淡水魚 川那部浩哉・水野信彦編・監修 山と渓谷社
- ・日本水草図鑑 角野康郎著 文一総合出版
- ・世界の水草 I・II・III 山崎美津夫・山田洋共著 ハロウ出版

白子川について

白子川の起点は練馬区の大泉井頭公園の七福橋です。白子川は大泉井頭公園の湧水から流れが始まり、練馬区、埼玉県和光市と板橋区の間を流れ、新河岸川に合流する10kmの河川です。



河川名：白子川

水系名：荒川水系

級種：一級河川

河川延長：10.0km

流域面積：25.0km²

上流端：練馬区東大泉7丁目34番（七福橋）

下流端：板橋区三園2丁目17番（新河岸川合流点）

白子川 上流域



白子川 上流域（七福橋から大泉氷川橋付近まで）

1 練馬区立大泉井頭公園

白子川の源流に位置する公園です。起点とされる七福橋は南側の道路に残されています。公園の中心に川があり、河床や護岸から水が湧き出しています。川をよくのぞいていると、小魚や水生昆虫が見られるかもしれません。

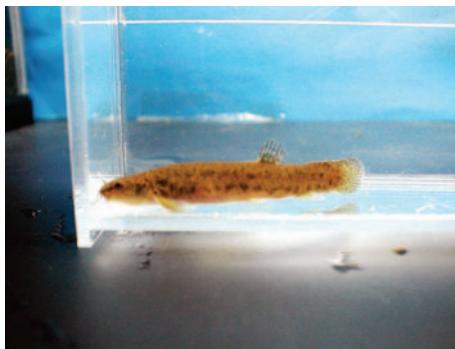
所在地：練馬区東大泉 7-34



練馬区立大泉井頭公園

2 ホトケドジョウ

ホトケドジョウは、水温が比較的低く、流れが緩やかな場所に生息し、湧水のあるきれいな小川や池を好むことが知られています。絶滅が心配されている魚で、白子川では水草の多くある上流域で生息していることが確認されています。



ホトケドジョウ

3 ナガエミクリ

湧水が水源となっている河川に多く見られるミクリ科の植物です。絶滅が心配されている植物の一つで、白子川では水が河床や護岸から湧き出ている上流域に多く分布しています。また、ナガエミクリのほかによく似た「ミクリ」も確認されています。



ナガエミクリ（水中葉）

4 大泉堀との合流跡

現在の西東京市から流れ出た水が練馬区に入り、西大泉で合流する水路が「大泉堀」と呼ばれていました。今ではふたがかけられ、一部は緑道になっています。以前は生活排水が流れ込んでいましたが、下水道が整備され、その跡だけが残されています。

所在地：練馬区西大泉 1-1



大泉堀との合流跡

5 ミズキンバイ

絶滅が心配されている植物の1つで、夏場の時期に小さな黄色の花を付けます。この植物の葉の多くが水面より上にあり、水面近くにある状態と水上にある状態では葉の形が異なっています。河川環境の悪化などで全国的にもこの水草の生息場所が少なくなっているそうです。



ミズキンバイ

6 練馬区立びくに公園

テニス場と多目的広場が見られるお皿のような形をした公園です。実はこの公園、白子川が増水したときには調節池（比丘尼橋上流調節池）となります。くぼ地の上にある遊歩道に面して、湧水もみられる八の釜憩いの森が続いています。

所在地：練馬区東大泉 2-28



練馬区立びくに公園



白子川 中流域

白子川 中流域（大泉氷川橋付近から子安橋付近まで）

1 八の釜憩いの森

雑木林と湧水で作り出された自然が残された場所で、目白通りから少し入ったところにあります。この付近はかつて「谷」と呼ばれ、ここに湧水池があり、水の湧くところを「釜」と言ったことから昔は「谷の釜」と称したそうです。

所在地：練馬区東大泉 2-27



八の釜憩いの森の湧水

2 比丘尼橋下流調節池

比丘尼橋下流調節池は、ここより下流の川の流量を減らして水害から守るための施設です。台風や集中豪雨などで白子川の水位が上昇したときにノコギリ状の越流堰と呼ばれるところから洪水を調節池内に取り込むようになっています。

所在地：練馬区大泉町 4-2



比丘尼橋下流調節池

3 清水山憩いの森

白子川に沿った北斜面の雑木林で、カタクリが群生している森として知られています。斜面から湧き出た水が流れをつくり、白子川に注ぎ込んでいます。この湧水は平成15年1月に東京都が選定した「東京の名湧水57選」の一つになっています。

所在地：練馬区大泉町 1-6



清水山憩いの森の湧水

4 稲荷山憩いの森

練馬区の「憩いの森」の中で最も面積の大きな森です。春にはカタクリも一部の場所で見ることができます。森の北側には湧水量が豊富で透明度の高い小さな池があり、コイなどの魚が泳いでいるのが見られます。

所在地：練馬区土支田 4－14



稻荷山憩いの森の湧水

5 カタクリ

カタクリはユリ科に属する多年草で、種子から花が咲くまでに7～8年かかるといわれています。一株の開花期間は1週間程度で、その年の気候により多少前後しますが、3月下旬から4月中旬頃まで赤紫色の花を見ることができます。白子川流域では清水山・稻荷山憩いの森などに自生しています。



カタクリの花

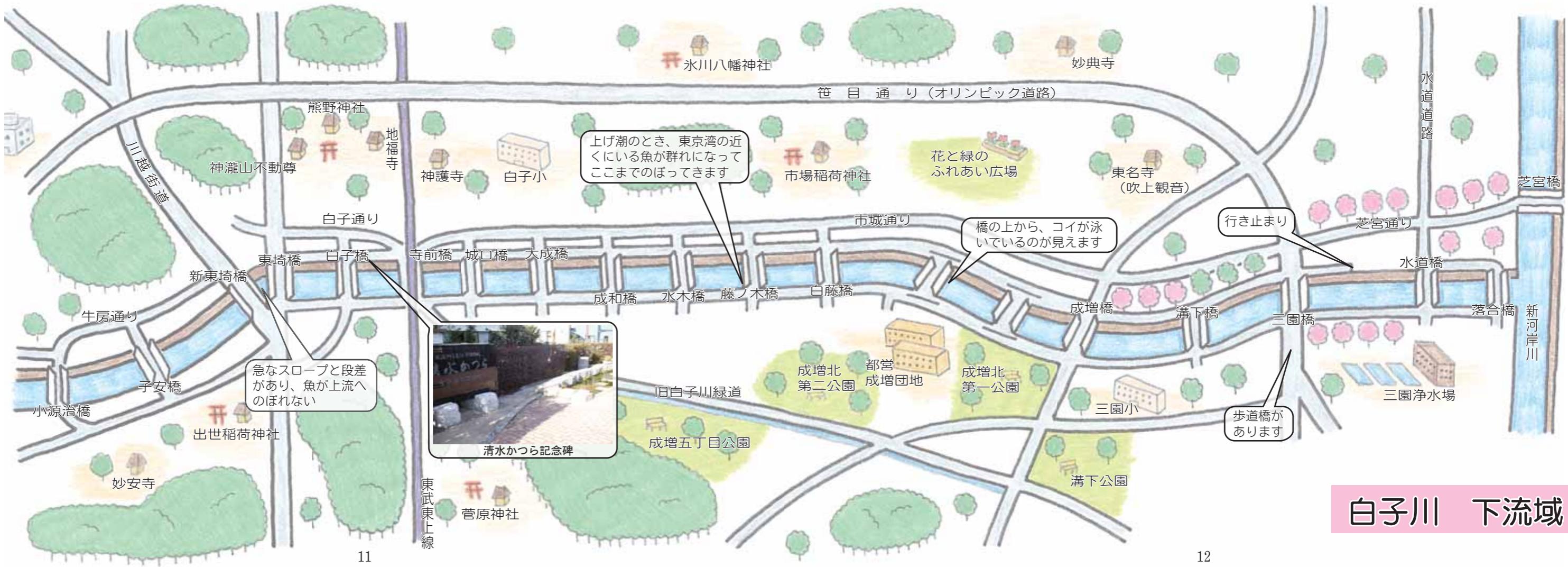
6 中里幼稚園の湧水

練馬区と和光市との都県境近くに中里幼稚園の湧水があります。この湧水は白子川の北側斜面から流れ出て、白子川に注いでいます。湧水量は豊富で、白子川の水の浄化にも役立っています。夏には園児の水遊びにも使用されるそうです。

所在地：練馬区大泉町 1－19



白子川へ注ぎ込む中里幼稚園の湧水



白子川 下流域

白子川 下流域（子安橋付近から白子川河口まで）

1 魚がのぼってくるのを阻むもの

白子川下流域ではアユやボラ、スズキ、ウナギ、マハゼ、マルタなど、海と川を行き来する魚が確認されています。しかし、新東埼橋付近に大きな落差があり、その下流は急なスロープになっているため、魚はここから上流にはのぼれません。



新東埼橋下の落差

2 白子橋下流部

川越街道の宿場の面影は失われましたが、湧水は今も健在で、白子橋から寺前橋にかけて、左岸の土管から流入しているのが見えます。以前行われた河川改修で新しくなった白子橋の欄干には、童謡詩人清水かつらの「靴が鳴る」の歌詞が彫られています。

所在地：和光市白子 3-22



白子橋

3 白子地区の湧水群と斜面林

和光市白子地区には斜面林が残っていて、ところどころ水が湧き出ています。年々開発等によりなくなってしまう斜面林ですが、ここにはまだ300メートルを超える連続した斜面林も残っています。斜面林の一部は、長く保全できるよう「保全地区」という和光市の制度により指定されています。



白子地区の斜面林

4 熊野神社裏の湧水

明治12、3年ごろにこの湧水で鮭、鱈の人工ふ化が試みられ、成功したとの記録があります。現在は、それをしのばせるものは湧水の他には何もありません。社殿裏の山裾には湧水でできた池があり、その水が龍（水神）の口から流れ落ちています。

所在地：和光市白子2-15



熊野神社裏の湧水

5 旧白子川緑道

和光市と板橋区の都県境は、白子川をはさんで左右に入り組んでいます。この都県境はかつての白子川の川筋だったわけです。東武東上線下の寺前橋から板橋区側に曲がっていた旧川筋は、白子川が直線化されたあとに農業用水路として使われ、高島平4丁目あたりまでの田んぼに入れられていました。現在は、旧白子川緑道として整備され、人工のせせらぎとなっています。



旧白子川緑道

6 新河岸川との合流点

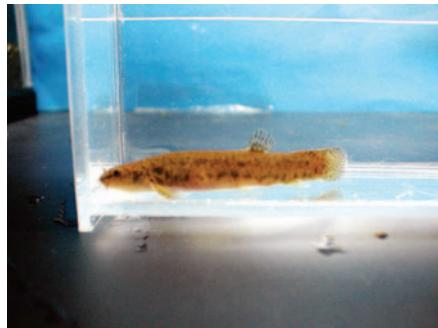
一級河川白子川の終点。かつて白子川は荒川に合流していましたが、昭和初期に新河岸川が開削されて、今は新河岸川に合流しています。この付近は潮の影響を受け、川の流れが止まったり、逆流したりすることもあります。新河岸川を通ってアユやボラなどがのぼってきます。



新河岸川との合流点

白子川の水生生物 (上流域で確認された生物)

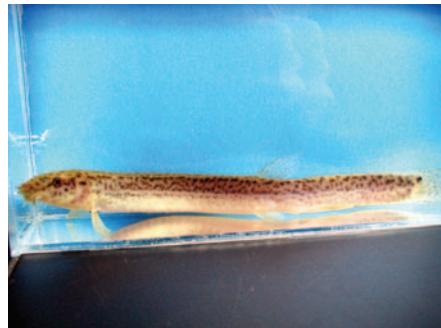
上流域に生息している生物です。他にも大型のコイが確認されるほか、アブラハヤ、メダカ、キンギョなどの魚が確認されることもあります。



ホトケドジョウ



フナ (キンブナ)



ドジョウ



モツゴ



フナ (ギンブナ)



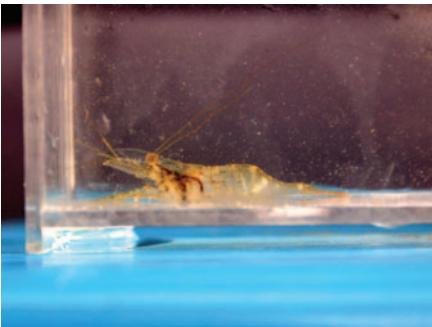
アメリカザリガニ

白子川の水生生物 (下流域で確認された生物)

下流域に生息している生物です。下流域は大型のコイが目立ちますが、ボラやマルタなど、海と川を行き来する魚が群れをなして泳いでいるのを見ることができます。



アユ



テナガエビ



ボラ



ウナギ



マルタ



マハゼ



モクズガニ

白子川の水生植物（白子川上流域）



オランダガラシ



アメリカミズユキノシタ



ヨシ



フトイ



カワヂシャ



ミズキンバイ

白子川上流域に分布している代表的なものですが、これの中には中流・下流域で確認されるものもあります。季節によってはこれら写真のような花を見ることができます。



オランダカイウ



オオフサモ



カンガレイ



キショウブ



ナガエミクリ（左）とミクリ（右）



ミズヒマワリ

白子川流域環境協議会

練馬区環境清掃部環境保全課

〒176-8501

東京都練馬区豊玉北 6-12-1

TEL.03-3993-1111

和光市市民環境部環境課

〒351-0192

埼玉県和光市広沢 1-5

TEL.048-464-1111

板橋区資源環境部環境保全課

〒173-8501

東京都板橋区板橋 2-66-1

TEL.03-3964-1111



古紙配合率100%再生紙を使用しています